

注3

大学番号：国039

[平成28年度設置]

計画の区分：学部の学科の設置

注1

事前伺い

福井大学 工学部 機械・システム工学科

注2

【事前伺い】設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人 福井大学
平成29年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 総合戦略部門経営戦略課

職名・氏名 キカクカリチョウ 企画係長・コイケ 小池 ミスエ 瑞絵

電話番号 0776-27-8055

（夜間） 0776-27-8055

F A X 0776-27-8518

e-mail sskikaku-k@ad.u-fukui.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に

() 書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成29年3月31日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

工学部

<機械・システム工学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	14
4. 既設大学等の状況	15
5. 教員組織の状況	18
6. 留意事項等に対する履行状況等	45
7. その他全般的事項	46

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 福井大学

(2) 大学名

福井大学

(3) 大学の位置

〒910-8507

福井県福井市文京3丁目9番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(マミ ミツミ) 真弓 光文 (平成25年4月)		
学部長	(オダ ノブホ) 小野田 信春 (平成25年4月)		
学科長	(オダ ジュンイチ) 太田 淳一 (平成29年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成27年度に報告済の内容 → (27)

平成29年度に報告する内容 → (29)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は, 平成26年度開設の4年制の学科の場合(平成29年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
工学部 機械・システム工学科 学士(工学)	工学分野	4年	155人	10年次	640人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	155人 () [若干名]	-人 () [若干名]	155人 () [若干名]	-人 () [若干名]	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	1.02倍	
志願者数	597 () [4]	- () [-]	515 () [7]	- () [-]	() () []	() () []	() () []	() () []		
受験者数	383 () [4]	- () [-]	331 () [7]	- () [-]	() () []	() () []	() () []	() () []		
合格者数	172 () [1]	- () [-]	173 () [4]	- () [-]	() () []	() () []	() () []	() () []		
B 入学者数	160 () [1]	- () [-]	158 () [3]	- () [-]	() () []	() () []	() () []	() () []		
入学定員超過率 B/A	1.03		1.01							

- (注) ・ 数字は, 平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入**してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	160 [1] (-)	- [-] (-)	158 [3] (-)	- [-] (-)	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
2年次	/		158 [1] (-)	- [-] (-)	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
3年次	/		/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
4年次	/		/		/		[] ()	[] ()	
計	160 [1] (-)		316 [4] (-)		[] ()		[] ()		

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成28年度 入学者	160 人	2 人	平成28年度	2 人	0 人	他の教育機関への入学・転学	1.25 %
			平成29年度	0 人	0 人		
			平成30年度	人	人		
			平成31年度	人	人		
平成29年度 入学者	158 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人		0.00 %
			平成30年度	人	人		
			平成31年度	人	人		
平成30年度 入学者	人	0 人	平成30年度	人	人		#DIV/0! %
			平成31年度	人	人		
平成31年度 入学者	人	0 人	平成31年度	人	人		#DIV/0! %
合 計	318 人	2 人					0.62 %

(注)・数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者数のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<工学部 機械・システム工学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
科六 科目	大学教育入門セミナー	1前	2			2	8	3	1			
	情報処理基礎	1前	2			1	8				兼1	
	体育	1前		2							兼8	
	保健体育	1前		2							兼9	
	英語Ⅰ	1前	1								兼18	
	英語Ⅱ	1前	1								兼18	
	英語Ⅲ	1後	1								兼18	
	英語Ⅳ	1後	1								兼18	
	英語Ⅴ	2前	1								兼18	
	英語Ⅵ	2前	1								兼18	
	ドイツ語Ⅰ	2①			1						兼1	
	ドイツ語Ⅱ	2②			1						兼1	
	ドイツ語Ⅲ	2③			1						兼1	
	ドイツ語Ⅳ	2④			1						兼1	
	フランス語Ⅰ	2①			1						兼1	
	フランス語Ⅱ	2②			1						兼1	
	フランス語Ⅲ	2③			1						兼1	
	フランス語Ⅳ	2④			1						兼1	
	中国語Ⅰ	2①			1						兼1	
	中国語Ⅱ	2②			1						兼1	
	中国語Ⅲ	2③			1						兼1	
	中国語Ⅳ	2④			1						兼1	
	日本語A	1前		1							兼1	
	日本語B	1後		1							兼1	
	日本語C	1前		1							兼1	
	日本語D	1後		1							兼1	
	日本語E	1前		1							兼1	
	日本語F	1後		1							兼1	
	日本語G	1前		1							兼1	
	日本語H	1後		1							兼1	
	共通教育科目	<社会>										
		<地域と歴史>										
		日本史(近世社会の展開)	1前		2							兼1
		日本史(中世社会の転換)	1後		2							兼1
		地図に見る歴史と景観	1前		2							兼1
		発展途上国の人間地生態	1前		2							兼1
		東洋史A(「東アジア世界」と日本)	1前		2							兼1
		東洋史B(近代日本とアジア認識)	1後		2							兼1
		<現代社会の見方>										
		憲法概論	1前		2							兼1
		経済学B(現代社会とワークルール)	1前		2							兼1
		社会学B(変容する家族と社会)	1後		2							兼1
		政治学A(現代政治学入門)	1前		2							兼1
		政治学B(戦後日本の政治)	1後		2							兼1
		日本国憲法	1前		2							兼1
		社会学A(メディア社会の諸相)	1前		2							兼1
		ジェンダー論	1後		2							兼1
		社会学C(コミュニティと住民組織)	1前		2							兼1
		経済学A(金融って何だろう)	1後		2							兼1
		経済学C(経済学の基礎理論)	1前		2							兼1
		科学技術と社会	2前		2			1				
		<生活と生活空間の科学>										
		まちづくり論	1前		2			2	2			
災害の科学		1後		2			2	2	2			
表生活の現状		1前		2							兼1	
災害ボランティア論		1後		2			1					
こども環境学入門		1後		2							兼1	
都市と建築の環境		1後		2			2	1				
現代社会と私たちの生活		1前		2							兼1	
現代社会とビジネス		1前		2							兼1	
東日本大震災をどう受け止めるか	1後		2							兼5		
環境問題と社会	1前		2							兼1		
現代社会とキャリア・アントレプレナーシップ	1後		2							兼1		
科学技術と倫理	1後		2			1						
<人間>												

＜思想と人間＞										
哲学的人間学Ⅰ	1後	2								兼1
哲学的人間学Ⅱ	1後	2								兼1
ラテン語とキリスト教	1前	2								兼1
日本思想	1前	2								兼1
哲学とは何か	1後	2								兼1
哲学入門	1前	2								兼1
宗教と哲学	1前	2								兼1
＜人間の科学＞										
教えることと学ぶこと	1後	2								兼1
人間の科学特別演習A（教育学）	1後	2								兼1
人間の科学特別演習B（心理学）	1後	2								兼2
人間の科学特別演習C（障害児）	1後	2								兼2
批判的思考を伸ばす	1前	2								兼1
「社会がわかる」とは？	1前	2								兼1
健康科学・医科学概論	1後	2								兼15
子どもと学校	1後	2								兼1
心を探る（人間関係論）	1前	2								兼1
こころの発達と健康	1前	2								兼1
＜スポーツと健康の科学＞										
ニューススポーツと健康生活	1前	2								兼1
アウトドアスポーツとバリアフリー	1前	2								兼1
生まれること、産むこと	1前	2								兼1
健康メディアリテラシー	1後	2								兼1
ネット型球技（バレーボール）	1後	2								兼1
指導の理論と実際	1後	2								兼1
＜英語コミュニケーション＞										
スピーキングⅠ	1前	2								兼1
リスニング	1前	2								兼1
ライティングⅠ	1前	2								兼1
ライティングⅡ	1後	2								兼1
リーディング	1後	2								兼1
＜文化＞										
＜日・中言語文化＞										
言語表現	1後	2								兼1
中国の古典文学	1前	2								兼1
中国のことば	1前	2								兼1
多文化コミュニケーションA （異文化コミュニケーションA）	1後	2								兼1
多文化コミュニケーションB （日本語コミュニケーションB）	1前	2								兼1
多文化コミュニケーションC （異文化コミュニケーションC）	1前	2								兼1
教養中国語Ⅰ	1前	2								兼1
教養中国語Ⅱ	1後	2								兼1
教養中国語Ⅲ	1前	2								兼1
教養中国語Ⅳ	1後	2								兼1
言語生活論	1前	2								兼1
中国の文化	1後	2								兼1
日本語の歴史	1後	2								兼1
白川文字学	1後	2								兼1
＜欧米の言語と文化＞										
ヨーロッパの言語事構	1前	2								兼1
フランスの文化A（文学と絵画）	1前	2								兼1
フランスの文化B （ジャズ・ポピュリズムとその時代）	1後	2								兼1
教養ドイツ語Ⅰ	1前	2								兼1
教養ドイツ語Ⅱ	1後	2								兼1
教養ドイツ語Ⅲ	1前	2								兼1
教養ドイツ語Ⅳ	1後	2								兼1
教養フランス語Ⅰ	1前	2								兼1
教養フランス語Ⅱ	1後	2								兼1
教養フランス語Ⅲ	1前	2								兼1
教養フランス語Ⅳ	1後	2								兼1
アメリカの文化	1後	2								兼1
フランス文学入門	1前	2								兼1
ヨーロッパの映画	1後	2								兼1
ドイツの文化	1前	2								兼1
＜美術＞										
造形美術の世界—絵画	1前	2								兼1
造形美術の世界—表現世界の多様性	1前	2								兼1
生活と美術—みる、えがく、つくる	1前	2								兼1
考古学入門	1後	2								兼1
＜音楽＞										
ポピュラー音楽の魅力をさぐる	1後	2								兼1
近現代の音楽芸術	1前	2								兼1
ピアノの魅力をさぐる	1後	2								兼1
現代音楽入門	1後	2								兼1
合唱の魅力を探る	1前	2								兼1
＜日本語・日本文化（留学生対象）＞										
日本の文化	1前	2								兼1
日本事情A（日本語と文化）	1前	2								兼1
日本事情B（社会と文化）	1後	2								兼1
応用日本語Ⅰ	1前	2								兼1
応用日本語Ⅱ	1後	2								兼1
＜技術＞										
＜システムと情報＞										
数値計算の考え方	1前	2			1					
計算機システムの基礎	1前	2					1			
エネルギーと環境	1後	2					1			
宮沢賢治と非線形科学	1後	2					1			
マルチメディア情報通信	1後	2					1			
ロボットの知能と学習	1前	2							1	
生体情報工学	1前	2								1
＜生活と技術＞										
熱と流れ	1後	2							2	
音と振動	1前	2								1

共通教育科目	共通教育科目	科学技術と環境	1前	2	2	1	1	教育効果向上のため担当教員追加補充(29)
		科学技術と倫理	1後	2	1			
		地域の局地気象	1前	2				兼1
		自然史と生物	1前	2				兼1
		日本海地域の自然と環境	1前	2				兼1
		地域の自然と環境 (福井や日本海地域を中心に)	1前	2	1			COC+事業に伴う地域志向科目の充実のため科目追加(29)
		地球の環境	1後	2				兼1
		福井の経済と経営者	1前	2				兼1
		コミュニティと住民組織	1後	2				兼1
		地域科学コミュニケーション	1前	2				兼2
		これからの地方創生と経営学	1前	2				兼1
		ふくいを知る・見る・考える	1前	2				兼1
		原子力・エネルギー分野						
		電磁波と物質	1前	2				兼4
		エネルギー科学	1後	2	1	+		担当教員昇任のため(29)
		生活の中の熱とエネルギー	1後	2	1			
		熱と流れ	1後	2	2			
		エネルギーと環境	1後	2	1			
		災害の科学	1後	2	1	2	1	退職により教員を見直し、当該科目は複数名で担当のため、後任なし(29)
		災害ボランティア論	1後	2	1	+		
		東日本大震災をどう受け止めるか	1後	2				兼5
		放射線利用ー医学と産業ー	1前	2	1		1	4 兼5 教員の異動のため(29)
		地域の防災・危機管理	1前	2			1	2 兼3 教員の異動のため(29)
		<教養教育科目群>						
		人間理解・言語コミュニケーション分野						
		批判的思考を伸ばす	1前	2				兼1
		「社会がわかる」とは?	1前	2				兼1
		心を探る(人間関係論)	1前	2				兼1
		こころの発達と健康	1前	2				兼1
		人間の科学特別演習A(教育学)	1後	2				兼1
		人間の科学特別演習B(心理学)	1後	2				兼3
		人間の科学特別演習C(障害児)	1後	2				兼2
		子どもと学校	1後	2				兼1
		教えることと学ぶこと	1後	2				兼1
		アクティブ・ラーニングと生涯学習	1後	2				兼2 教育効果向上のため、科目を追加(29)
		学問の入り口	1前	2				兼1 教育効果向上のため、科目を追加(29)
		生まれること、産むこと	1前	2				兼1
		健康科学・医科学概論	1後	2				兼15 教育効果向上のため、教員体制を見直し、担当教員を変更(29)
		ニュースポーツと健康生活	1前	2				兼1
		アウトドアスポーツとバリアフリー	1前	2				兼1
		健康メディアリテラシー	1後	2				兼1
		ネット型球技(バレーボール)指導の理論と実際	1後	2				0 兼4 退職による教員を見直し、後任補充予定(29)
		哲学的人間学Ⅰ	1後	2				兼1
		哲学的人間学Ⅱ	1後	2				兼1
		日本思想	1前	2				兼1
		宗教と哲学	1前	2				兼1
		哲学入門	1前	2				兼1
		哲学とは何か	1後	2				兼1
		スピーキングⅠ	1前	2				兼1
		リスニングⅡ	1前	2				兼1
ライティングⅠ	1前	2				兼1		
ライティングⅡ	1後	2				兼1		
リーディング	1後	2				兼1		
ヨーロッパの言語事情	1前	2				兼1		
多文化コミュニケーションA(異文化コミュニケーションA)	1後	2				兼1		
多文化コミュニケーションB(日本語コミュニケーションB)	1前	2				兼1		
多文化コミュニケーションC(異文化コミュニケーションC)	1前	2				兼1		
言語生活論	1前	2				兼1		
言語表現	1後	2				兼1		
応用日本語Ⅰ	1前	2				兼1		
応用日本語Ⅱ	1後	2				兼1		
中国語の世界1	1前	2				兼1		
中国語の世界2	1後	2				兼1		
中国語の世界3	1前	2				兼1 退職により教員を見直し、後任補充(29)		
中国語の世界4	1後	2				兼1 退職により教員を見直し、後任補充(29)		
ドイツ語の世界1	1前	2				兼1		
ドイツ語の世界2	1後	2				兼1		
ドイツ語の世界3	1前	2				兼1		
ドイツ語の世界4	1後	2				兼1		
フランス語の世界1	1前	2				兼1		
フランス語の世界2	1後	2				兼1		
フランス語の世界3	1前	2				兼1		
フランス語の世界4	1後	2				兼1		
歴史・文化理解分野								
東洋史A(「東アジア世界」と日本)	1前	2				兼1		
東洋史B(近代日本とアジア認識)	1後	2				兼1		
日本史(中世社会の転換)	1後	2				兼1		
日本史(近世社会の展開)	1前	2				兼1		
発展途上国の人間地生態	1前	2				兼1		
地図に見る歴史と景観	1前	2				兼1		
「歴史」のトリビア(歴史文化論から歴史教育まで)	1後	2				兼1 教育効果向上のため、科目を追加(29)		
ラテン語とキリスト教	1前	2				兼1		
アメリカの文化	1後	2				兼1		
フランス文学入門	1前	2				兼1		
フランスの文化A(文学と絵画)	1前	2				兼1		
フランスの文化B(オペラとその時代)	1後	2				兼1		
ヨーロッパの映画	1後	2				兼1		
ドイツの文化	1前	2				兼1		
中国の文化	1後	2				兼1		

共通教育科目	共通教育科目	中国のことば	1前	2					兼1		
		中国の古典文学	1前	2					兼1		
		日本語の歴史	1後	2					兼1		
		白川文字学	1後	2					兼1		
		日本の文化	1前	2					兼1		
		日本事情A(日本語と文化)	1前	2					兼1		
		日本事情B(社会と文化)	1後	2					兼1		
		近現代の音楽芸術	1前	2					兼1		
		合唱の魅力を探る	1前	2					兼1		
		ポピュラー音楽の魅力をさぐる	1後	2					兼1		
		ピアノの魅力をさぐる	1後	2					兼1		
		現代音楽入門	1後	2					兼1		
		生活と美術-みる、えがく、つくる	1前	2					兼1		
		造形美術の世界-表現世界の多様性	1前	2					兼1		
		造形美術の世界-絵画	1前	2					兼1		
		考古学入門	1後	2					兼1		
		社会経済・科学技術分野									
		経済学A(金融って何だろう)	1後	2						兼1	
		経済学B(現代社会とワークルール)	1前	2						兼1	
		経済学C(経済学の基礎理論)	1前	2						兼1	
		マネジメント入門	1前	2						兼1	教育効果向上のため、科目を追加(29)
		憲法概論	1前	2						兼1	
		日本国憲法	1前	2						兼1	
		主権者意識をはぐくむ	1後	2						兼1	教育効果向上のため、科目を追加(29)
		社会学A(相互行為論入門)	1前	2						兼1	
		社会学B(現代農村の社会学)	1後	2						兼1	
		政治学A(現代政治学入門)	1前	2						兼1	
		政治学B(戦後日本の政治)	1後	2						兼1	
		ジェンダー論	1後	2						兼1	
		音と振動	1前	2	1						
		バイオの世界	1前	2	2	2					
		電子の世界	1前	2	2	1					
		生体機能と化学物質	1後	2	1	3					
		数値計算の考え方	1前	2	2	1					
		計算機システムの基礎	1前	2			1				
		コンピュータと情報処理	1前	2						兼1	教育効果向上のため、科目を追加(29)
		生体情報工学	1前	2			1				
		宮沢賢治と非線形科学	1後	2	1						
		ゲームとパズルの数学	1後	2						兼1	
		数学の歴史	1後	2						兼1	
		数学のことばで理解する物理学	1後	2	1						
		対称性と微分方程式	1前	2	1						
		ランダム現象の記述	1後	2						兼1	
		物理と微積分	1前	2						兼1	
		科学的な見方・考え方	1後	2						兼2	
		植物の生活史と進化	1後	2						兼1	
		ヒトの生物学	1後	2						兼1	
火山のはなし	1後	2						兼1			
宇宙の成り立ち	1後	2			1						
専門教育科目	専門基礎科目	微分積分Ⅰ	1前	2			1	1	兼+	教員の採用のため及び工学基礎教育支援センターに係る教員を兼任教員としていたため、専任教員へ修正(29)	
		線形代数Ⅰ	1前	2		2	+		兼+	工学基礎教育支援センターに係る教員を兼任教員としていたため、専任教員へ修正(29)	
		物理学A(力学)	1前	2		1	1				
		微分積分Ⅱ	1後	2		1	1		兼+	工学基礎教育支援センターに係る教員を兼任教員としていたため、専任教員へ修正(29)	
		線形代数Ⅱ	1後	2		2	+		兼+	工学基礎教育支援センターに係る教員を兼任教員としていたため、専任教員へ修正(29)	
		コンピュータ入門	1後	2		1	1				
		コンピュータ演習	2前	1			2				
		物理学実験	1後	2		1			1	兼+	教員の採用のため(29)
		応用数学A(微分方程式)	2前	2		1	1				
		応用数学B(フーリエ解析)	2前	2		1	+			兼1	教員の昇任のため(29)
		応用数学C(ベクトル解析)	2前	2			1			兼+	工学基礎教育支援センターに係る教員を兼任教員としていたため、専任教員へ修正(29)
		物理学B(電磁気学)	2前	2			1	1	+	兼+	教員の昇任のため及び工学基礎教育支援センターに係る教員を兼任教員としていたため、専任教員へ修正(29)
		物理学D(熱・波・光)	2前	2			1			兼+	工学基礎教育支援センターに係る教員を兼任教員としていたため、専任教員へ修正(29)
		応用数学D(複素関数論)	2後	2						兼1	
		応用数学E(確率・統計)	2後	2		1				兼+	科目内容の見直しのため1名減、及び工学基礎教育支援センターに係る教員を兼任教員としていたため、専任教員へ修正(29)
		応用電磁気学	2後	2			1				
		工業日本語Ⅰ	1前	2						兼1	
		工業日本語Ⅱ	1後	2						兼1	
		工業日本語Ⅲ	2前	2						兼1	
		工業日本語Ⅳ	2後	2						兼1	
留学基礎英語	1~4前後	2		1				兼+	他学科の教員を兼任教員としていたため、専任教員へ修正(29)		
学際実験・実習Ⅰ	2前	1			3			兼+	他学科の教員を兼任教員としていたため、専任教員へ修正(29)		
学際実験・実習Ⅱ	3前	1			3			兼+	他学科の教員を兼任教員としていたため、専任教員へ修正(29)		

専門基礎科目	放射線安全工学	2後		2		2 +	1				1 兼+	教育内容充実のため (29)	
	知的財産権の基礎知識	3後		2							兼1		
	ベンチャービジネス概論	4前		2							兼1		
	フロントランナー	3後		2			1				兼+	他学科の教員を兼任教員としていたため、専任教員へ修正 (29)	
	ものづくり基礎工学	1後		2				1			兼+	他学科の教員を兼任教員としていたため、専任教員へ修正 (29)	
	インターンシップ	3前		1			1				兼+	他学科の教員を兼任教員としていたため、専任教員へ修正 (29)	
	海外短期インターンシップ I	1~4前後		1			1				兼+	他学科の教員を兼任教員としていたため、専任教員へ修正 (29)	
	海外短期インターンシップ II	1~4前後		2			1				兼+	他学科の教員を兼任教員としていたため、専任教員へ修正 (29) 教育内容充実のため (28)	
	職業指導	4前			2						兼1	教職課程認定申請の指摘事項対応のため、教職科目から移動 (28)	
	学科共通科目	機械・システム工学科概論 I	1前	2			2	+				兼1	教育効果向上のための科目の教員体制を見直しのため (29)
		物理化学	1前	2				1	+			兼1	教員の昇任のため (29)
		機械・システム材料基礎	1前		2							兼1	
		情報処理演習	1前		1			+				兼1	教育効果向上のための科目の教員体制を見直しのため (29)
		人とロボット	1前		2		1						
		エネルギー環境概論	1前		2							兼1	
		解析力学	1後	2				1	1	+			教員の昇任のため (29)
		電気工学概論	1後		2		1						
		先端材料入門	1後		2			1					
		生物システム入門	1後		2			1					
		機械・システム工学科概論 II	1後	2			2	+				兼1	教育効果向上のための科目の教員体制を見直しのため (29)
計算機システム		1後		2		1					兼+	工学基礎教育支援センターに係る教員を兼任教員としていたため、専任教員へ修正 (29)	
計測工学基礎		1後		2		1							
製図・CAD基礎		2前		1		1	1				兼+	教員の退職による教員を見直しのため (29)	
ロボットと医療・福祉		2前		2			1						
量子力学		2後		2		1							
制御工学 I		2後		2		1	1						
創造演習 I		3前	1			7	2 ++	2	+		兼S	教育効果向上のための科目の教員体制を見直しのため (29)	
制御工学 II		3前		2		1	1						
数値解析入門		3前		2			2						
創造演習 II	3後	1			7	2 ++	2	+		兼S	教育効果向上のための科目の教員体制を見直しのため (29)		
科学技術英語	4前	2			1	+ +	2	2			教育効果向上のための科目の教員体制を見直しのため (29)		
コース共通科目	製図基礎	1後		2			1					機械工学コース, 原子力安全工学コース	
	材料力学 I	2前	2			+		1				機械工学コース, 原子力安全工学コース 教員の退職による教員を見直しのため (29)	
	機構学	1後		2			1					機械工学コース, ロボティクスコース	
	機械工作実習	1後		1		1						機械工学コース, 原子力安全工学コース	
	材料力学 II	2後		2		1						機械工学コース, 原子力安全工学コース	
	機械材料	1後		2		1						機械工学コース, 原子力安全工学コース	
	熱力学 I	2前	2				1	+				機械工学コース, 原子力安全工学コース 教員の昇任のため (29)	
	流れ学 I	2前		2			1					機械工学コース, 原子力安全工学コース	
	機械推論基礎	2前		2			1					機械工学コース, ロボティクスコース	
	熱力学 II	2後		2		1						機械工学コース, 原子力安全工学コース	
	流れ学 II	2後		2		1						機械工学コース, 原子力安全工学コース	
	機械力学 I	2後	2			1						機械工学コース, 原子力安全工学コース	
	メカトロニクス	2後		2		1						機械工学コース, ロボティクスコース	
	材料力学 III	3前		2		+		1				機械工学コース, 原子力安全工学コース 教員の退職による教員を見直しのため (29)	
	流体力学	3前		2			1					機械工学コース, 原子力安全工学コース	

専門教育科目	コース共通科目	伝熱工学	3前		2		1					機械工学コース, 原子力安全工学コース	
		機械力学Ⅱ	3前		2		1					機械工学コース, 原子力安全工学コース	
		ロボットメカニズム	3前		2			1				機械工学コース, ロボティクスコース	
		ロボット材料学	3前		2			1				機械工学コース, ロボティクスコース	
		材料強度学	3後		2				1			機械工学コース, 原子力安全工学コース	教員の退職による教員を見直しのため (29)
		ロボット制御論	3後		2				1			機械工学コース, ロボティクスコース	
		ロボットと非線形動力学	3後		2			1				機械工学コース, ロボティクスコース	
	機械工学コース科目	加工学Ⅰ	2前	2				1					
		加工学Ⅱ	2後		2			1					
		機械要素設計Ⅰ	2後	2					1				
		機械工学実験	3前	1			2	2	1		±		教員の昇任のため (29)
		機械要素設計Ⅱ	3前		2				1				
		トライボロジー	3後		2				1				
		エネルギー変換	3後		2				1		±		教員の昇任のため (29)
		流体機械	3後		2				1				
	生産システム工学	3後		2				1					
	ロボティクスコース科目	ロボット工学基礎実験Ⅰ	2前	1				1	1	1		±	教員の昇任のため (29)
		応用電気電子回路	2前		2			1					
		デジタル回路	2前		2				1				
		ロボットプログラムⅠ	2前		2				1				
		生物とロボット	2前		2				1				
		ロボット工学基礎実験Ⅱ	2後	1						3			
		ロボットプログラムⅡ	2後		2			1					兼1 工学基礎教育支援センターに係る教員を兼任教員としていたため、専任教員へ修正 (29)
		グラフィクスと認知	2後		2				1				
		人工知能論	2後		2			1					兼1 工学基礎教育支援センターに係る教員を兼任教員としていたため、専任教員へ修正 (29)
		ものづくりを支える科学	2後		2				1				
		信号処理	3前		2			1					
		ロボットビジョン	3前		2				1				
		インテリジェントシステム処理論	3前		2				1				
		自律システム	3後		2				1				
		生物ロボットの認知・情報処理	3後		2				1				
	人とヒューマノイド	3後		2				1					
	人間情報システム	3後		2				1					
ブレインマシンインターフェース	3後		2					1		±	教員の昇任のため (29)		
原子力安全工学コース科目	放射化学	2前		2								兼1	
	原子炉物理学序論	2前	2									兼1	
	核燃料サイクル工学入門	2前	2									兼3	
	原子力プラント工学	2後	2									2 兼1 教育内容充実のため (29)	
	放射線の医療応用	2後		2				1					
	放射線化学・生物学	2後		2								兼1	
	原子炉工学	3前	2									兼1	
	原子力安全工学実験Ⅰ	3前	1				1	1				4 兼2 教育内容充実のため (29)	
	原子力材料学	3前		2								兼1	
	核燃料工学	3前		2								兼1	
リスク評価概論	3前		2								兼1		
原子力安全工学実験Ⅱ	3後	1						1			6 兼2 教育内容充実のため (29)		

専門教育科目	専門科目	原子力・耐震耐津波工学	3後		2						兼1		
		原子炉制御工学	3後		2							兼2	
		廃止措置工学	3後		2							兼1	
		放射線防護工学	3後		2							兼2	
		原子力防災論	3後		2							兼2	
研究業	卒業研究	4通	8			15 14	16 15	8 2	2		兼8	教員の異動及び教育内容充実のため(29)	
教職科目	幾何学概論	4前			2						兼1	教職課程認定申請の指摘事項対応のため、科目取り下げ (28)	
	職業指導	4前			2						兼1	教職課程認定申請の指摘事項対応のため、専門基礎科目へ移動 (28)	
	工業概論	3前			2	4 2	3 4	1			1 兼6	教員の退職のため及び他学科の教員を兼任教員としていたため、専任教員へ修正 (29) 教職課程認定申請の指摘事項対応のため、科目を追加 (28)	
	教職の意義Ⅰ (公教育と教職の意義)	1後			1 2						兼2	記載の誤りのため、単位数を修正 (29) 副題の追記 (28)	
	教職の意義Ⅱ (学びの専門職としての教師)	2前			1 2						兼2	記載の誤りのため、単位数を修正 (29) 副題の追記 (28)	
	成長・発達と学習の過程	2前			2						兼2		
	教育の組織・制度・経営の基礎	2前			2						1 兼2	教員の退職のため (29) 教職課程認定申請の指摘事項対応のため、科目名称を変更 (28)	
	カリキュラムと教育方法	3前			2						兼2	教職課程認定申請の指摘事項対応のため、科目取り下げ (28)	
	理科教育法Ⅲ 中等理科教育法Ⅱ	3後 3前			2	1					2 兼4	教育内容の充実のため (29) 教職課程認定申請の指摘事項対応のため、名称及び開設時期を変更 (28)	
	学校教育相談Ⅰ (生徒指導を含む)	3前			2						兼2		
	学校教育相談Ⅱ (進路指導を含む)	3後			2						兼2		
	教育実習 (事前事後指導を含む)	4通			3						兼3		
	教職実践演習 (中・高)	4後			2						5 兼6	教員の退職のため (29)	

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成28年度に認可(届出)された大学等は設置認可(届出)時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼任の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 41	科目 238	科目 12	科目 291	科目 41 [0]	科目 246 [8]	科目 13 [1]	科目 300 [9]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	該当無し					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は，「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	幾何学概論	2	4前	専門	選択	教職課程認定申請の指摘事項対応のため、科目取り下げ
2	カリキュラムと教育方法	2	3前	専門	選択	教職課程認定申請の指摘事項対応のため、科目取り下げ
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり，何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は，「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<大学の所見>
 いずれの科目も教員免許取得のための教職科目として開講予定であったが、「幾何学概論」は、教職課程認定申請の指摘事項対応のため、科目を取り下げたものであり不都合はない。また、「カリキュラムと教育方法」は、教育学部で開講する科目を受講させることとしたため、不都合はない。

<学生への周知方法>
 「カリキュラムと教育方法」については、学生便覧及び授業時間割において教育学部開設科目であることを周知し、他学部科目として履修するよう指導する。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目 (3) と廃止科目 (4) の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計 (A)}} = \frac{2}{304} = \boxed{0.65} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て，小数点以下第2位までを記入してください。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計				
	校舎敷地	267,651㎡	㎡	㎡	267,651㎡				
	運動場用地	94,273㎡	㎡	㎡	94,273㎡				
	小 計	361,924㎡	㎡	㎡	361,924㎡				
	そ の 他	181,060㎡	㎡	㎡	181,060㎡				
	合 計	542,984㎡	㎡	㎡	542,984㎡				
(2) 校舎	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計					
	138,456㎡ (㎡)	㎡ (㎡)	㎡ (㎡)	138,456㎡ (㎡)					
(3) 教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体			
	71室	99室	426室	18室 (補助職員 3人)	4室 (補助職員 3人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数						
	工学部機械・システム工学科		41 室						
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	学部単位での特定不能なため、大学全体の数	
	国際地域学部	676,470 [203,071] (663,628 [196,401])	35,620 [6,610] (37,291 [24,707])	17,650 [900] (17,650 [900])	6,326 (6,008)	6,000 (5,893)	1 (1)		
	計	676,470 [203,071] (663,628 [196,401])	35,620 [6,610] (37,291 [24,707])	17,650 [900] (17,650 [900])	6,326 (6,008)	6,000 (5,893)	1 (1)		
(6) 図書館	面 積		閲覧座席数	収 納 可 能 冊 数		大学全体			
	8,653㎡		827	788,333					
(7) 体育館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要						
	3,929㎡		屋外球技コート、プール、野球場						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	国費（運営費交付金）による
		教員1人当り研究費等	— 千円	— 千円	図書購入費	— 千円	— 千円	— 千円	
	共同研究費等	— 千円	— 千円	設備購入費	— 千円	— 千円	— 千円		
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円		
学生納付金以外の維持方法の概要									

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成29年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(29)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	福井大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入定学員	編入学員	収定容員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
【学部】	年	人	年次人	人		倍			
教育地域科学部									
学校教育課程	4	-	-	-	学士 (教育学)	-	平成11年度	福井県福井市文京3丁目9番1号	平成28年度から学生募集停止
地域科学課程	4	-	-	-	学士 (地域科学)	-	平成20年度		〃
教育学部									
学校教育課程	4	100	-	400	学士 (教育学)	1.05	平成28年度	福井県福井市文京3丁目9番1号	平成28年度から学部名称変更
医学部									
医学科	6	110	2年次 5	685	学士 (医学)	0.99	昭和55年度	福井県吉田郡永平寺町松岡下合月23号3番地	
看護学科	4	60	-	240	学士 (看護学)	0.98	平成9年度		
工学部									
機械工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	平成11年度	福井県福井市文京3丁目9番1号	平成28年度から学生募集停止
電気・電子工学科	4	-	-	-	〃	-	〃		〃
情報・IT工学科	4	-	-	-	〃	-	〃		〃
建築建設工学科	4	-	-	-	〃	-	〃		〃
材料開発工学科	4	-	-	-	〃	-	〃		〃
生物応用化学科	4	-	-	-	〃	-	〃		〃
物理工学科	4	-	-	-	〃	-	〃		〃
知能システム工学科	4	-	-	-	〃	-	〃		〃
機械・システム工学科	4	155	3年次 10	640	学士 (工学)	1.02	平成28年度		
電気電子情報工学科	4	125	3年次 20	540	〃	1.02	〃		
建築・都市環境工学科	4	60	3年次 10	260	〃	1.03	〃		
物質・生命化学科	4	135	-	540	〃	1.02	〃		
応用物理学科	4	50	-	200	〃	1.07	〃		

国際地域学部 国際地域学科	4	60	-	240	学士 (国際地域)	1.03	平成28年度	福井県福井市文京3丁目 9番1号	
【大学院】 教育学研究科 (修士課程) 学校教育専攻	2	30	-	60	修士 (教育学)	0.86	平成20年度	福井県福井市文京3丁目 9番1号	平成28年度から入学定員 変更(12→30)
教科教育専攻	2	-	-	-	修士 (教育学)	-	〃		平成28年度から学生 募集停止
(教職大学院の課程) 教職開発専攻	2	37	-	74	教職修士 (専門職)	1.05	平成20年度		平成28年度から入学定員 変更(30→37)
医学系研究科 (修士課程) 看護学専攻	2	12	-	24	修士 (看護学)	0.95	平成13年度	福井県吉田郡永平寺町松岡下合月 23号3番地	
(博士課程) 統合先進医学専攻	4	25	-	100	博士 (医学)	0.94	平成25年度		平成25年度から学生 募集停止
医科学専攻	4	-	-	-	〃	-	平成20年度		
先端応用医学専攻	4	-	-	-	〃	-	〃		〃
工学研究科 (博士前期課程) 機械工学専攻	2	32	-	64	修士 (工学)	1.35	平成15年度	福井県福井市文京3丁目 9番1号	平成25年度から入学定員 変更(25→32)
電気・電子工学 専攻	2	30	-	60	〃	1.31	〃		平成25年度から入学定員 変更(20→30)
情報・IT工学 専攻	2	31	-	62	〃	0.96	〃		平成25年度から入学定員 変更(23→31)
建築建設工学専攻	2	28	-	56	〃	1.05	〃		平成25年度から入学定員 変更(22→28)
材料開発工学専攻	2	24	-	48	〃	1.10	〃		
生物応用化学専攻	2	21	-	42	〃	1.16	〃		
物理工学専攻	2	18	-	36	〃	1.19	〃		平成25年度から入学定員 変更(14→18)
知能システム工学専攻	2	27	-	54	〃	1.18	〃		
繊維先端工学専攻	2	15	-	30	〃	1.63	平成25年度		
原子力・エネルギー 安全工学専攻	2	27	-	54	〃	1.10	平成16年度		
(博士後期課程) 総合創成工学専攻	3	22	-	66	博士 (工学)	1.16	平成25年度	福井県福井市文京3丁目 9番1号	平成25年度から学生 募集停止
物質工学専攻	3	-	-	-	〃	-	平成5年度		
システム設計工学専攻	3	-	-	-	〃	-	〃		〃
ファブ・アニティ 工学専攻	3	-	-	-	〃	-	平成14年度		〃
原子力・エネルギー 安全工学専攻	3	-	-	-	〃	-	平成16年度		〃

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者（学校法人等）が設置している全ての大学（学部，学科），大学院（専攻）及び短期大学（学科）（AC対象学部等含む）について，それぞれの学校種ごとに，平成29年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等，「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
※「入学定員を定めている組織ごと」には，課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
※なお，課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は，法令上規定されている組織上の最小単位（大学であれば「学科」，短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては，記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・「平均入学定員超過率」には，標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで（小数点以下第3位を切り捨て）を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合，入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「－」とし，「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<共通>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	理事 副学長	岩井 善郎	平成28年4月	地方創生福井モデルの事例研究－鯖江学－ ふくいを知る・見る・考える						
兼任	教授	石井パークマン 麻子	平成28年4月	人間の科学特別演習C(障害児)						
兼任	教授	服部 由美子	平成28年4月	衣生活の現状						
兼任	教授	宗倉 啓	平成28年4月	スポーツ健康科学Ⅰ ニュースポーツと健康生活						
兼任	教授	澤崎 久和	平成28年4月	中国の古典文学						
兼任	教授	藤井 豊	平成28年4月	健康科学・医科学概論 ※						
兼任	教授	上野 栄一	平成28年4月	健康科学・医科学概論 ※						
兼任	教授	坂田 登	平成28年4月	哲学的人間学Ⅰ 哲学的人間学Ⅱ ラテン語とキリスト教						
兼任	教授	寺尾 健夫	平成28年4月	批判的思考を伸ばす						
兼任	教授	高木 裕美	平成28年4月	ピアノの魅力をさぐる						
兼任	教授	大山 利夫	平成28年4月	ヒトの生物学						
兼任	教授	水沢 利栄	平成28年4月	スポーツ健康科学Ⅱ アウトドアスポーツとバリアフリー						
兼任	教授	濱口 由美	平成28年4月	生活と美術－みる、えがく、つくる						
兼任	教授	安倍 博	平成28年4月	健康科学・医科学概論 ※						

兼任	教授	山本 博文	平成28年4月	日本海地域の自然と環境 地球の環境						
兼任	教授	大久保 貢	平成28年4月	半導体の科学						
兼任	教授	高山 善行	平成28年4月	日本語の歴史						
兼任	教授	澁谷 政子	平成28年4月	近現代の音楽芸術						
兼任	教授	栗原 一嘉	平成28年4月	物理と微積分						
兼任	教授	西村 保三	平成28年4月	ゲームとパズルの数学						
兼任	准教授	湊 七雄	平成28年4月	造形美術の世界—絵画						
兼任	教授	谷澤 昭彦	平成28年4月	健康科学・医科学概論 ※						
兼任	准教授	梅村 憲子	平成28年4月	合唱の魅力を探る						
兼任	准教授	木村 哲也	平成28年4月	東日本大震災をどう受け止めるか ※ 放射線利用—医学と産業—						
兼任	教授	五井 孝憲	平成28年4月	健康科学・医科学概論 ※						
兼任	准教授	竹内 恵子	平成28年4月	生まれること、産むこと						
兼任	教授	吉村 治広	平成28年4月	ポピュラー音楽の魅力をさぐる						
兼任	准教授	風間 寛司	平成28年4月	数学の歴史						
兼任	教授	伊達 正起	平成28年4月	リスニングⅡ						

兼担	准教授	膽吹 覚	平成28年4月	日本語B 日本語G 日本の文化 日本事情A (日本語と文化) 日本事情B (社会と文化)						
兼担	教授	松友 一雄	平成28年4月	言語生活論 言語表現						
兼担	准教授	稲垣 良介	平成28年4月	ネット型球技 (バレーボール) 指導の理論と実際		後任未定		ネット型球技 (バレーボール) 指導の理論と実際	退職による教員を見直し、後任補充予定 (29)	
兼担	教授	橋本 康弘	平成28年4月	「社会がわかる」とは？ 主権者意識をはぐくむ						
兼担	准教授	坂本 太郎	平成28年4月	造形美術の世界ー表現世界の多様性						
兼担	准教授	千原 一泰	平成28年4月	健康科学・医科学概論 ※						
兼担	教授	門井 直哉	平成28年4月	地図に見る歴史と景観						
兼担	准教授	保科 英人	平成28年4月	自然史と生物						
兼担	准教授	廣澤 愛子	平成28年4月	人間の科学特別演習B (心理学)						
兼担	准教授	岸 俊行	平成28年4月	心を探る (人間関係論) 人間の科学特別演習B (心理学)						
兼担	准教授	山田 吉英	平成28年4月	科学的な見方・考え方						
兼担	准教授	大和 真希子	平成28年4月	人間の科学特別演習A (教育学) 子どもと学校						
兼担	准教授	遠藤 貴広	平成28年4月	教えることと学ぶこと アクティブ・ラーニングと生涯学習 ※						
兼担	准教授	大西 将史	平成28年4月	こころの発達と健康 人間の科学特別演習B (心理学)						

兼担	准教授	星谷 文生	平成28年4月	現代音楽入門						
兼担	准教授	Dylan Jones	平成28年4月	英語Ⅲ 英語Ⅳ ライティングⅠ						
兼担	准教授	西沢 徹	平成28年4月	地域科学コミュニケーション 植物の生活史と進化						
兼担	准教授	本田 安都子	平成28年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語Ⅲ 英語Ⅳ アメリカの文化						
兼担	准教授	山田 孝禎	平成28年4月	スポーツ健康科学Ⅱ 健康メディアリテラシー						
兼担	准教授	三好 雅也	平成28年4月	火山のはなし						
兼担	准教授	中村 太一	平成28年4月	リーディング						
兼担	助教	森川 美羽	平成28年4月	健康科学・医科学概論 ※						
兼担	特命 助教	佐藤 直樹	平成29年4月	環境問題と社会			後任未定		環境問題と社会	退職による教員を預置し、後任補充予定 (28)
兼担	講師	中切 正人	平成29年10月	「歴史」のトリビア (歴史文化論から歴史教育まで)						
兼担	教授	寺岡 英男	平成28年4月	東日本大震災をどう受け止めるか ※						
兼担	教授	LEHNER ALBERT JOSEPH JR	平成28年4月	哲学入門						
兼担	教授	伊藤 勇	平成28年4月	社会学 A (相互行為論入門) 社会学 B (現代農村の社会学)						
兼担	教授	横井 正信	平成28年4月	政治学 A (現代政治学入門) 政治学 B (戦後日本の政治)						

兼担	教授	木村 亮	平成28年4月	経済学A（金融って何だろう） 経済学B（現代社会とワークルール）						
兼担	教授	木原 泰紀	平成28年4月	英語Ⅲ 英語Ⅳ 英語Ⅴ 英語Ⅵ						
兼担	教授	松田 和之	平成28年4月	フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ フランス文学入門 ヨーロッパの映画						
兼担	教授	月原 敏博	平成28年4月	発展途上国の人間地生態						
兼担	教授	皆島 博	平成28年4月	英語Ⅲ 英語Ⅳ 英語Ⅴ 英語Ⅵ ヨーロッパの言語事情						
兼担	准教授	JANNUZI CHARLES EDWARD	平成28年4月	英語Ⅲ 英語Ⅳ 英語Ⅴ 英語Ⅵ スピーキングⅠ ライティングⅡ						
兼担	准教授	中村 太一	平成28年4月	英語Ⅴ 英語Ⅵ						
兼担	准教授	永井 崇弘	平成28年4月	中国語Ⅰ 中国語Ⅱ 中国のことば						
兼担	准教授	羽田野 慶子	平成28年4月	ジェンダー論						
兼担	准教授	今井 祐子	平成28年4月	フランス語Ⅲ フランス語Ⅳ フランスの文化A（文学と絵画）【隔年】 フランスの文化B（ジ・ボ・ニムとその時代）【隔年】 フランス語の世界1 フランス語の世界2						
兼担	准教授	磯崎 （中田） 康太郎	平成28年4月	ドイツ語Ⅰ ドイツ語Ⅱ ドイツ語Ⅲ ドイツ語Ⅳ ドイツの文化						
兼担	准教授	田村 （佐藤） 容子	平成28年4月	中国語の世界3 中国語の世界4 中国の文化	兼任	講師	加藤 錦霞	平成29年4月	中国語の世界3	退職による教員を見直し、後任補充（29）
					兼任	講師	加藤 錦霞	平成29年10月	中国語の世界4	退職による教員を見直し、後任補充（29）
					兼任	講師	田村 （佐藤） 容子	平成29年10月	中国の文化	福井大学退職後、兼任となり、授業を受け持つ（29）

兼担	講師	東村 (魚津) 純子	平成28年4月	考古学入門						
兼担	講師	田中 志敬	平成28年4月	コミュニティと住民組織						
兼担	講師	飯田 健志	平成28年4月	経済学C (経済学の基礎理論)						
兼担	講師	中村 友哉	平成29年4月	マネジメント入門						
兼担	助教	HENNESSY CHRISTOPHER ROBERT	平成28年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ						
兼担	助教	BECCE NICOLANGELO	平成28年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ						
兼担	助教	LOMBARDI IVAN	平成28年4月	英語Ⅲ 英語Ⅳ						
兼担	講師	Malcolm Wayne Anthony	平成28年4月	英語Ⅲ 英語Ⅳ 英語Ⅴ 英語Ⅵ						
兼担	助教	渡邊 綾	平成28年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語Ⅲ 英語Ⅳ						
兼担	助教	木曾 久美子	平成29年4月	都市と建築の環境 ※						
兼担	教授	酒井 明子	平成28年4月	東日本大震災をどう受け止めるか ※ 放射線利用－医学と産業－ ※						
兼担	教授	松岡 達	平成28年4月	健康科学・医科学概論 ※						
兼担	教授	岩崎 博道	平成28年4月	健康科学・医科学概論 ※						
兼担	教授	吉田 好雄	平成28年4月	健康科学・医科学概論 ※						

兼担	教授	松崎 秀夫	平成28年4月	健康科学・医科学概論 ※						
兼担	教授	小林 基弘	平成28年4月	健康科学・医科学概論 ※						
兼担	准教授	松本 英樹	平成28年4月	健康科学・医科学概論 ※						
兼担	教授	島田 一郎	平成4年月	健康科学・医科学概論 ※						
兼担	准教授	桑原 陽子	平成28年4月	日本語C 日本語E 日本語H 多文化コミュニケーションA (異文化コミュニケーションA) 多文化コミュニケーションB (日本語コミュニケーションB) 多文化コミュニケーションC (異文化コミュニケーションC)						
兼担	准教授	三浦 麻	平成28年4月	地域の局地気						
兼担	准教授	長谷川 裕子	平成28年4月	日本史 (中世社会の転換) 日本史 (近世社会の展開)						
兼担	准教授	清水 泰幸	平成28年4月	憲法概論 日本国憲法						
兼担	准教授	山次 俊介	平成29年4月	健康科学・医科学概論 ※						
兼担	准教授	竹本 拓治	平成28年4月	現代社会とビジネス 現代社会とキャリア・アントレプレナー シップ						
兼担	准教授	松本 智恵子	平成28年4月	ランダム現象の記述						
兼担	講師	Malcolm Wayne Anthony	平成28年4月	英語 I 英語 II 英語 III 英語 IV 英語 V 英語 VI						
兼担	講師	逸見 洋二郎	平成28年4月	英語 I 英語 II 英語 III 英語 IV						
兼担	特命教授	吉田 史朗	平成29年10月	ふくいを知る・見る・考える II						

兼任	特命講師	末本 哲雄	平成29年4月	学問の入り口						
----	------	-------	---------	--------	--	--	--	--	--	--

<工学部>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専任	教授	太田 淳一	平成28年4月	熱と流れ ※ 線形代数Ⅰ 機械・システム工学科概論Ⅰ 機械・システム工学科概論Ⅱ 科学技術英語 流れ学Ⅱ 流体機械 卒業研究						
専任	教授	大津 雅亮	平成28年4月	機械工作実習 加工学Ⅰ 加工学Ⅱ 工業概論 卒業研究						
専任	教授	鞍谷 文保	平成28年4月	音と振動 線形代数Ⅱ 機械力学Ⅰ 機械力学Ⅱ 卒業研究						
専任	教授	竹下 晋正	平成28年4月	微分積分Ⅱ 機械材料 機械工学実験 卒業研究						
専任	教授	永井 二郎	平成28年4月	熱と流れ ※ 熱力学Ⅱ 伝熱工学 機械工学実験 卒業研究						
専任	教授	山田 泰弘	平成28年4月	コンピュータ入門 電気工学概論 メカトロニクス 生産システム工学 卒業研究						
専任	准教授	太田 貴士	平成29年4月	コンピュータ演習 数値解析入門 流体力学 卒業研究						
専任	准教授	川井 昌之	平成29年4月	応用数学A(微分方程式) 制御工学Ⅰ 卒業研究						
専任	准教授	川谷 亮治	平成30年4月	創造演習Ⅰ 制御工学Ⅱ 創造演習Ⅱ 機械工学実験 卒業研究						
専任	准教授	酒井 康行	平成28年4月	物理化学 熱力学Ⅰ エネルギー変換 工業概論 卒業研究						

専任	准教授	新谷 真功	平成28年4月	情報処理基礎 物理学A (力学) 解析力学 機構学 卒業研究						
専任	准教授	田中 太	平成29年4月	創造演習 I 創造演習 II 流れ学 I 機械工学実験 卒業研究						
専任	准教授	本田 知己	平成28年4月	製図・CAD基礎 製図基礎 機械要素設計 I 機械要素設計 II トライボロジー 卒業研究						
専任	講師	岡田 将人	平成28年4月	ものづくり基礎工学 創造演習 I 創造演習 II 卒業研究						
専任	講師	旭吉 雅健	平成29年4月	創造演習 I 創造演習 II 材料力学 I 材料強度学 卒業研究						
専任	講師	福島 啓悟	平成31年4月	卒業研究						
専任	講師	Xiao-Wen Lei	平成30年4月	材料力学III 卒業研究						
専任	講師	吉田 達哉	平成30年4月	機械工学実験 卒業研究						
専任	助教	三浦 拓也	平成31年4月	卒業研究						
専任	教授	高田 宗樹	平成28年4月	物理学 A (力学) 応用数学B (フーリエ解析) 生物ロボットの認知・情報処理 卒業研究						
専任	教授	浪花 智英	平成28年4月	計測工学基礎 制御工学 I 制御工学 II ロボット工学基礎実験 I 工業概論 卒業研究						
専任	教授	平田 隆幸	平成28年4月	宮沢賢治と非線形科学 応用数学 A (微分方程式) ロボットと非線形動力学 卒業研究						
専任	教授	藤垣 元治	平成28年4月	機械・システム工学科概論 I 機械・システム工学科概論 II 製図・CAD基礎 卒業研究						
専任	教授	村瀬 一之	平成28年4月	人とロボット 応用電気電子回路 信号処理 卒業研究						

専任	准教授	小越 康宏	平成28年4月	コンピュータ入門 学際実験・実習Ⅰ 学際実験・実習Ⅱ 機械推論基礎 インテリジェントシステム処理論 卒業研究						
専任	准教授	片山 正純	平成29年4月	学際実験・実習Ⅰ 学際実験・実習Ⅱ ロボット工学基礎実験Ⅰ ロボットビジョン 人間情報システム 卒業研究						
専任	准教授	黒岩 文介	平成29年4月	応用電磁気学 自律システム 卒業研究 コンピュータ演習						
専任	准教授	庄司 英一	平成28年4月	先端材料入門 ロボット材料学 ロボット工学基礎実験Ⅱ ものづくりを支える科学 卒業研究						
専任	准教授	高橋 泰岳	平成28年4月	ロボットの知能と学習 デジタル回路 卒業研究						
専任	准教授	田中 完爾	平成29年4月	ロボットメカニズム ロボット制御論 ロボット工学基礎実験Ⅱ グラフィックスと認知 卒業研究						
専任	准教授	長宗 高樹	平成29年4月	コンピュータ演習 ロボットと医療・福祉 ロボットプログラムⅠ 卒業研究						
専任	講師	谷合 由章	平成28年4月	物理学B（電磁気学） 解析力学 ロボット工学基礎実験Ⅰ フレキシブルマシンインターフェース 卒業研究						
専任	教授	飯井 俊行	平成29年4月	材料力学Ⅱ 卒業研究						
専任	教授	仁木 秀明	平成28年4月	量子力学 電気数学 卒業研究						
専任	教授	玉川 洋一	平成28年4月	放射線利用－医学と産業－ ※ 物理学実験 放射線安全工学 原子力安全工学実験Ⅰ 応用物理学実験Ⅲ 卒業研究						
専任	教授	小高 知宏	平成28年4月	計算機システム ロボットプログラムⅡ 人工知能論 卒業研究 コンピュータ入門						
専任	准教授	桑水流 理	平成30年4月	数値解析入門 原子力安全工学実験Ⅰ 工業概論 卒業研究						

専任	准教授	浅井 竜哉	平成28年4月	生体情報工学 生物システム入門 生物とロボット ロボット工学基礎実験Ⅱ 人とヒューマノイド 放射線の医療応用 卒業研究							
専任	講師	川崎 大介	平成28年4月	微分積分Ⅰ 原子力安全工学実験Ⅱ 卒業研究							
専任	講師	松尾 陽一郎	平成28年4月	情報処理基礎 放射線利用－医学と産業－※ 地域の防災・危機管理 ※ 物理学実験 卒業研究							
専任	助教	寺西 正輝	平成31年4月	卒業研究							
専任	教授	小原 敦美	平成28年4月	対称性と微分方程式 電気電子情報工学概論 電気電子情報工学実験Ⅰ 電気電子情報工学実験Ⅱ 電気電子情報工学実験Ⅲ 制御理論基礎 制御理論 卒業研究							
専任	教授	金邊 忠	平成28年4月	電子の世界 電気電子情報工学概論 電気電子情報工学実験Ⅰ 電気電子情報工学実験Ⅱ 電気電子情報工学実験Ⅲ 量子エレクトロニクス プラズマ工学 卒業研究							
専任	教授	葛原 正明	平成28年4月	電気電子情報工学概論 電気電子情報工学実験Ⅰ 電気電子情報工学実験Ⅱ 電気電子情報工学実験Ⅲ 電磁波工学 半導体工学 電子デバイス 卒業研究							
専任	教授	田岡 久雄	平成28年4月	電気電子情報工学概論 電気エネルギー伝送 電気電子情報工学実験Ⅰ 電気電子情報工学実験Ⅱ 電気電子情報工学実験Ⅲ エネルギー変換工学 電気機器学 卒業研究							
専任	教授	塩島 謙次	平成28年4月	電磁気学基礎 電気電子情報工学概論 電気電子情報工学実験Ⅰ 電気電子情報工学実験Ⅱ 電気電子情報工学実験Ⅲ 電子回路 卒業研究							
専任	教授	橋本 明弘	平成28年4月	エネルギーと環境 電気電子情報工学概論 電気電子情報工学実験Ⅰ 電気電子情報工学実験Ⅱ 電気電子情報工学実験Ⅲ 電気エネルギー発生 卒業研究							
専任	教授	廣瀬 勝一	平成28年4月	電気電子情報工学概論 符号・暗号 電気電子情報工学実験Ⅰ 電気電子情報工学実験Ⅱ 電気電子情報工学実験Ⅲ 情報理論 コンピュータネットワーク 情報セキュリティ 卒業研究							

専任	教授	福井 一俊	平成28年4月	電気電子情報工学概論 電磁気学Ⅰ 電気電子情報工学実験Ⅰ 電気電子情報工学実験Ⅱ 電気電子情報工学実験Ⅲ 電磁気学Ⅱ 固体電子論 卒業研究						
専任	准教授	王 栄龍	平成28年4月	離散数学Ⅰ 電気電子情報工学概論 プログラミング基礎 電気電子情報工学実験Ⅰ 電気電子情報工学実験Ⅱ 電気電子情報工学実験Ⅲ システム工学 卒業研究						
専任	准教授	川戸 栄	平成28年4月	電気電子情報工学概論 電気電子情報工学実験Ⅰ 電気電子情報工学実験Ⅱ 電気電子情報工学実験Ⅲ 電磁気学演習 卒業研究						
専任	准教授	坂口 文則	平成28年4月	電気電子情報工学概論 フーリエ解析 電気電子情報工学実験Ⅰ 電気電子情報工学実験Ⅱ 電気電子情報工学実験Ⅲ 応用電気数学 信号処理 卒業研究						
専任	准教授	牧野 哲征	平成28年4月	数学演習 電気電子情報工学概論 電気電子情報工学実験Ⅰ 電気電子情報工学実験Ⅱ 電気電子情報工学実験Ⅲ 計測工学 エネルギー工学 卒業研究						
専任	准教授	茂呂 征一郎	平成28年4月	電気電子情報工学概論 電気回路Ⅰ 電気電子情報工学実験Ⅰ 電気電子情報工学実験Ⅱ 電気電子情報工学実験Ⅲ 電気回路Ⅱ 電気回路演習 卒業研究						
専任	講師	高野 浩貴	平成28年4月	電気電子情報工学概論 プログラミング基礎 電気機器設計 電気電子情報工学実験Ⅰ 電気電子情報工学実験Ⅱ 電気電子情報工学実験Ⅲ パワーエレクトロニクス 卒業研究						
専任	講師	小森 理	平成28年4月	電気電子情報工学概論 データ構造とアルゴリズム 電気電子情報工学実験Ⅰ 電気電子情報工学実験Ⅱ 電気電子情報工学実験Ⅲ 卒業研究						
専任	助教	田邊 英彦	平成28年4月	情報処理基礎 電気電子情報工学概論 電気電子情報工学実験Ⅰ 電気電子情報工学実験Ⅱ 電気電子情報工学実験Ⅲ 情報通信工学 卒業研究						
専任	教授	東海 彰吾	平成28年4月	離散数学Ⅰ 電気電子情報工学概論 電気電子情報工学実験Ⅰ 電気電子情報工学実験Ⅱ 電気電子情報工学実験Ⅲ プログラミングⅠ コンピュータグラフィックス 卒業研究						

専任	教授	藤元 美俊	平成28年4月	電磁気学基礎 電気電子情報工学概論 フーリエ解析 電気電子情報工学実験Ⅰ 電気電子情報工学実験Ⅱ 電気電子情報工学実験Ⅲ 情報伝送システム 卒業研究						
専任	教授	細田 陽介	平成28年4月	数値計算の考え方 電気電子情報工学概論 電気電子情報工学実験Ⅰ 電気電子情報工学実験Ⅱ 電気電子情報工学実験Ⅲ 離散数学Ⅱ データ構造とアルゴリズム演習 数値解析 卒業研究						
専任	教授	森 眞一郎	平成28年4月	電気電子情報工学概論 データサイエンス 論理回路 電気電子情報工学実験Ⅰ 電気電子情報工学実験Ⅱ 電気電子情報工学実験Ⅲ コンピュータアーキテクチャ 情報セキュリティ 卒業研究						
専任	教授	山上 智幸	平成28年4月	数学演習 電気電子情報工学概論 電気電子情報工学実験Ⅰ 電気電子情報工学実験Ⅱ 電気電子情報工学実験Ⅲ 形式言語とオートマトン 計算論とアルゴリズム設計 卒業研究						
専任	教授	山田 徳史	平成28年4月	情報処理基礎 数学のこぼれで理解する物理学 電気数学 電気電子情報工学概論 電気電子情報工学実験Ⅰ 電気電子情報工学実験Ⅱ 電気電子情報工学実験Ⅲ 卒業研究						
専任	教授	吉田 俊之	平成28年4月	応用数学E(確率・統計) 電気電子情報工学概論 電気回路Ⅰ 電気電子情報工学実験Ⅰ 電気電子情報工学実験Ⅱ 電気電子情報工学実験Ⅲ プログラミングⅠ 多変量解析 卒業研究						
専任	准教授	岩田 賢一	平成28年4月	電気電子情報工学概論 符号・暗号 データ構造とアルゴリズム 電気電子情報工学実験Ⅰ 電気電子情報工学実験Ⅱ 電気電子情報工学実験Ⅲ 情報理論 データ構造とアルゴリズム演習 卒業研究						
専任	准教授	橘 拓至	平成28年4月	電気電子情報工学概論 プログラミング基礎 電気電子情報工学実験Ⅰ 電気電子情報工学実験Ⅱ 電気電子情報工学実験Ⅲ コンピュータネットワーク 卒業研究						
専任	准教授	樋口 健	平成28年4月	電気電子情報工学概論 電気電子情報工学実験Ⅰ 電気電子情報工学実験Ⅱ 電気電子情報工学実験Ⅲ オペレーティングシステム データベース 卒業研究						
専任	准教授	福間 慎治	平成28年4月	電気電子情報工学概論 プログラミング基礎 電気電子情報工学実験Ⅰ 電気電子情報工学実験Ⅱ 電気電子情報工学実験Ⅲ 論理回路演習 卒業研究						

専任	准教授	森 幹男	平成28年4月	<p>計算機システムの基礎 電気電子情報工学概論 電気電子情報工学実験Ⅰ 電気電子情報工学実験Ⅱ 電気電子情報工学実験Ⅲ プログラミングⅠ プログラミングⅢ 信号処理 卒業研究</p>						
専任	講師	石井 大輔	平成28年4月	<p>電気電子情報工学概論 電気電子情報工学実験Ⅰ 電気電子情報工学実験Ⅱ 電気電子情報工学実験Ⅲ プログラミングⅡ 言語処理 ソフトウェア工学 卒業研究</p>						
専任	講師	長谷川 達人	平成29年4月	<p>電気電子情報工学概論 電気電子情報工学実験Ⅰ 電気電子情報工学実験Ⅱ 電気電子情報工学実験Ⅲ プログラミングⅡ 論理回路演習 プログラミングⅣ 卒業研究</p>						
専任	助教	張 潮	平成29年4月	<p>電気電子情報工学概論 電気電子情報工学実験Ⅰ 電気電子情報工学実験Ⅱ 電気電子情報工学実験Ⅲ コンピュータアーキテクチャ 卒業研究</p>						
専任	教授	明石 行生	平成28年4月	<p>都市と建築の環境 ※ 建築・都市環境工学概論 地球・都市環境工学 建築設備 建築環境工学第二 建築・都市環境工学PBL 卒業研究</p>						
専任	教授	石川 浩一郎	平成28年4月	<p>建築・都市環境工学概論 構造力学第一及び演習 建築資材力学及び演習 建築耐震工学 建築構造計算演習 建築・都市環境工学PBL 卒業研究</p>						
専任	教授	川上 洋司	平成28年4月	<p>まちづくり論 建築・都市環境工学概論 都市計画 国土・地域づくり論 都市設計演習第三 建築・都市環境工学PBL 卒業研究</p>						
専任	教授	小嶋 啓介	平成28年4月	<p>災害の科学 ※ 災害ボランティア論 建築・都市環境工学概論 測量学第一及び実習 応用地質学 建設工学実験実習 数値解析演習 地震・防災工学 建築・都市環境工学PBL 卒業研究</p>						
専任	教授	野嶋 慎二	平成28年4月	<p>まちづくり論 建築・都市環境工学概論 設計演習基礎第一 設計演習基礎第二 都市計画 都市設計演習第一 都市設計演習第二 都市設計演習第三 都市デザイン 景観設計 建築設計演習第二 建築・都市環境工学PBL 卒業研究</p>						

専任	准教授	磯 雅人	平成28年4月	情報処理基礎 災害の科学 ※ 建築・都市環境工学概論 建築構造基礎第一 建築施工 鉄筋コンクリート構造 マネジメント工学 建築構造計算演習 建築・都市環境工学PBL 卒業研究						
専任	准教授	井上 圭一	平成28年4月	情報処理基礎 災害の科学 ※ 建築・都市環境工学概論 建築構造基礎第二 構造力学第二及び演習 鋼構造 建築構造計算演習 建築・都市環境工学PBL 卒業研究						
専任	准教授	菊地 吉信	平成28年4月	情報処理基礎 まちづくり論 建築・都市環境工学概論 設計演習基礎第二 都市計画 都市設計演習第一 都市設計演習第二 住環境計画論 景観設計 都市設計演習第三 建築・都市環境工学PBL 卒業研究						
専任	准教授	原田 陽子	平成28年4月	設計演習基礎第一 設計演習基礎第二 建築計画各論第一 建築設計演習第一 都市設計演習第一 建築設計演習第二 建築設計演習第三 意匠・造形学 建築・都市環境工学PBL 卒業研究						
専任	准教授	川本 義海	平成28年4月	まちづくり論 建築・都市環境工学概論 測量学第一及び実習 都市計画 マネジメント工学 測量学第二及び演習 交通計画 都市設計演習第三 建築・都市環境工学PBL 卒業研究						
専任	講師	鈴木 啓悟	平成28年4月	基礎線形代数 建築・都市環境工学概論 建設構造工学及び演習 建設工学実験実習 数値解析演習 地震・防災工学 建築・都市環境工学PBL 卒業研究						
専任	講師	本間 礼人	平成28年4月	情報処理基礎 災害の科学 ※ 応用線形代数 建築・都市環境工学概論 材料科学 建設工学実験実習 鉄筋コンクリート構造 数値解析演習 地震・防災工学 建築・都市環境工学PBL 卒業研究						
専任	講師	西本 雅人	平成29年4月	建築・都市環境工学概論 建築計画通論 設計演習基礎第一 設計演習基礎第二 建築設計演習第一 建築設計演習第二 建築設計演習第三 建築計画各論第二 建築・都市環境工学PBL 卒業研究						
専任	講師	桃井 良尚	平成29年4月	建築・都市環境工学概論 地球・都市環境工学 建築環境工学第一 建築設備 建築・都市環境工学PBL 卒業研究						

専任	助教	寺崎 寛章	平成28年4月	応用線形代数 建築・都市環境工学概論 水理学 建設工学実験実習 建設環境工学 地震・防災工学 建築・都市環境工学PBL 卒業研究						
専任	教授	内村 智博	平成28年4月	科学技術と環境 ※ 分析化学 I 技術英語演習 分析化学 II 物質生命化学実験 I 物質生命化学実験 II 物質生命化学実験 III 物質生命化学実験 IV 卒業研究						
専任	教授	佐々木 隆	平成28年4月	新材料の世界 ※ 物質・生命化学概論 技術英語演習 物質生命化学実験 I 物質生命化学実験 II 物質生命化学実験 III 物理化学 III 固体物理学 卒業研究						
専任	教授	徳永 雄次	平成28年4月	地域の自然と環境（福井や日本海地域を中心） 物質・生命化学概論 有機化学 I 技術英語演習 有機化学 II 物質生命化学実験 II 物質生命化学実験 III 物質生命化学実験 IV 有機化学 IV 卒業研究						
専任	教授	飛田 英孝	平成28年4月	科学技術と環境 ※ 物質・生命化学概論 技術英語演習 物質生命化学実験 III 物質生命化学実験 IV 反応工学 卒業研究						
専任	教授	橋本 保	平成29年4月	技術英語演習 高分子化学 I 物質生命化学実験 II 物質生命化学実験 III 物質生命化学実験 IV 高分子合成 卒業研究						
専任	准教授	金 在虎	平成28年4月	無機化学 I 基礎化学実験 技術英語演習 無機化学 II 物質生命化学実験 II 物質生命化学実験 III 物質生命化学実験 IV 無機材料化学 卒業研究						
専任	准教授	阪口 壽一	平成29年4月	技術英語演習 高分子化学 I 物質生命化学実験 II 物質生命化学実験 III 物質生命化学実験 IV 機能性高分子 高分子合成 卒業研究						
専任	准教授	鈴木 清	平成28年4月	情報処理基礎 科学技術と環境 ※ 基礎化学実験 技術英語演習 物質生命化学実験 III 物質生命化学実験 IV 分離工学 卒業研究						

専任	准教授	瀬 和則	平成29年4月	新素材の世界 ※ 技術英語演習 物理化学Ⅱ 物質生命化学実験Ⅰ 物質生命化学実験Ⅲ 物質生命化学実験Ⅳ 高分子化学Ⅱ 卒業研究						
専任	准教授	田中 穰	平成28年4月	新素材の世界 ※ 物理学A(力学) 基礎化学実験 技術英語演習 物質生命化学実験Ⅰ 物質生命化学実験Ⅲ 物質生命化学実験Ⅳ レオロジー工学 卒業研究						
専任	講師	岡田 敬志	平成29年4月	科学技術と環境 ※ 基礎化学実験 技術英語演習 無機化学Ⅱ 物質生命化学実験Ⅰ 物質生命化学実験Ⅲ 無機材料化学 卒業研究						
専任	教授	内田 博之	平成28年4月	バイオの世界 ※ 生物化学Ⅰ 技術英語演習 物質生命化学実験Ⅱ 物質生命化学実験Ⅲ 物質生命化学実験Ⅳ 卒業研究						
専任	教授	櫻井 明彦	平成28年4月	バイオの世界 ※ 物質・生命化学概論 技術英語演習 化学工学基礎 物質生命化学実験Ⅱ 物質生命化学実験Ⅲ 物質生命化学実験Ⅳ 酵素工学 分離工学 卒業研究						
専任	教授	前田 史郎	平成28年4月	無機化学Ⅰ 技術英語演習 物理化学Ⅰ 物質生命化学実験Ⅲ 物質生命化学実験Ⅳ 卒業研究						
専任	教授	前田 寧	平成28年4月	生体機能と化学物質 ※ 物質・生命化学概論 技術英語演習 物理化学Ⅱ 物質生命化学実験Ⅱ 物質生命化学実験Ⅲ 物質生命化学実験Ⅳ 高分子化学Ⅱ 卒業研究						
専任	准教授	沖 昌也	平成28年4月	物質・生命化学概論 基礎化学実験 物質生命化学実験Ⅱ 生物化学Ⅲ 物質生命化学実験Ⅲ 物質生命化学実験Ⅳ 遺伝子工学 卒業研究						
専任	准教授	小西 慶幸	平成28年4月	基礎化学実験 技術英語演習 物質生命化学実験Ⅰ 生物化学Ⅱ 生物化学Ⅲ 物質生命化学実験Ⅲ 物質生命化学実験Ⅳ 卒業研究						

専任	准教授	里村 武範	平成28年4月	<p>バイオの世界 ※ 基礎化学実験 技術英語演習 物質生命化学実験Ⅰ 物質生命化学実験Ⅱ 生物化学Ⅱ 物質生命化学実験Ⅲ 物質生命化学実験Ⅳ 生物工学 卒業研究</p>						
専任	准教授	杉原 伸治	平成28年4月	<p>生体機能と化学物質 ※ 基礎化学実験 技術英語演習 高分子化学Ⅰ 物質生命化学実験Ⅱ 物質生命化学実験Ⅲ 物質生命化学実験Ⅳ 機能性高分子 高分子合成 卒業研究</p>						
専任	准教授	高橋 一郎	平成28年4月	<p>生体機能と化学物質 ※ 有機化学Ⅰ 技術英語演習 有機化学Ⅱ 物質生命化学実験Ⅲ 物質生命化学実験Ⅳ 卒業研究</p>						
専任	准教授	高橋 透	平成28年4月	<p>物質・生命化学概論 分析化学Ⅰ 基礎化学実験 技術英語演習 分析化学Ⅱ 物質生命化学実験Ⅰ 物質生命化学実験Ⅱ 物質生命化学実験Ⅲ 物質生命化学実験Ⅳ 卒業研究</p>						
専任	准教授	寺田 聡	平成28年4月	<p>バイオの世界 ※ 基礎化学実験 技術英語演習 物質生命化学実験Ⅱ 物質生命化学実験Ⅲ 物質生命化学実験Ⅳ 細胞生物学 生物化学Ⅳ 卒業研究</p>						
専任	准教授	吉見 泰治	平成29年4月	<p>生体機能と化学物質 ※ 技術英語演習 物質生命化学実験Ⅱ 有機化学Ⅲ 物質生命化学実験Ⅲ 物質生命化学実験Ⅳ 卒業研究</p>						
専任	教授	末 信一郎	平成28年4月	<p>進化する繊維の技術 ※ 物質・生命化学概論 技術英語演習 物質生命化学実験Ⅱ 微生物学 物質生命化学実験Ⅲ 物質生命化学実験Ⅳ 酵素工学 卒業研究</p>						
専任	教授	田上 秀一	平成29年4月	<p>繊維の世界 ※ 技術英語演習 化学工学基礎 物質生命化学実験Ⅰ 移動現象論 物質生命化学実験Ⅲ 物質生命化学実験Ⅳ 機能材料プロセス工学 卒業研究</p>						
専任	教授	中根 幸治	平成28年4月	<p>繊維の世界 ※ 物質・生命化学概論 技術英語演習 物質生命化学実験Ⅰ 材料力学 物質生命化学実験Ⅲ 物質生命化学実験Ⅳ 先端複合材料 卒業研究</p>						

専任	教授	久田 研次	平成29年4月	進化する繊維の技術 ※ 技術英語演習 物理化学 I 物質生命化学実験 I 物質生命化学実験 III 物質生命化学実験 IV 界面化学 卒業研究						
専任	准教授	入江 聡	平成28年4月	現場で役立つ機器分析 繊維の世界 ※ 物質・生命化学概論 物理基礎 技術英語演習 物質生命化学実験 I 物質生命化学実験 II 物質生命化学実験 III 物質生命化学実験 IV 固体物理学 卒業研究						
専任	准教授	廣垣 和正	平成28年4月	進化する繊維の技術 ※ 基礎化学実験 技術英語演習 物質生命化学実験 I 物質生命化学実験 III 物質生命化学実験 IV 繊維機能加工学 物理化学 III 卒業研究						
専任	准教授	藤田 聡	平成28年4月	進化する繊維の技術 ※ 生物化学 I 基礎化学実験 技術英語演習 物質生命化学実験 I 物質生命化学実験 III 物質生命化学実験 IV バイオマテリアル概論 卒業研究						
専任	講師	植松 英之	平成28年4月	情報処理基礎 繊維の世界 ※ 基礎化学実験 技術英語演習 物質生命化学実験 I 物質生命化学実験 II 移動現象論 物質生命化学実験 III 物質生命化学実験 IV 先端複合材料 機能材料プロセス工学 卒業研究						
専任	助教	平田 豊章	平成28年4月	基礎化学実験 技術英語演習 物質生命化学実験 III 卒業研究						
専任	教授	小野田 信春	平成28年4月	留学基礎英語 フロントランナー インターンシップ 海外短期インターンシップ I 海外短期インターンシップ II 線形代数 II 卒業研究						
専任	教授	菊池 彦光	平成28年4月	物理学A (力学) 応用物理学実験 I 応用物理学実験 III 物性物理学 I 物性物理学 II 卒業研究						
専任	教授	葛生 伸	平成28年4月	大学教育入門セミナー 科学技術と社会 科学技術と倫理 生活の中の熱とエネルギー 理科教育法 III 卒業研究						

専任	教授	高木 丈夫	平成28年4月	線形代数Ⅱ 応用物理学概論 応用数学A(微分方程式) 統計力学 卒業研究						
専任	教授	陳 競篤	平成28年4月	エネルギー科学 応用物理学実験Ⅲ 卒業研究						
専任	教授	橋本 貴明	平成29年4月	応用数学E(確率・統計) 応用数学B(フーリエ解析) 応用数学講究 解析力学 卒業研究						
専任	教授	堀邊 稔	平成28年4月	微分積分Ⅰ 微分積分Ⅱ 線形代数演習 微分積分講究 応用数学B(フーリエ解析) 応用数学D(複素関数論) 卒業研究						
専任	教授	保倉 理美	平成28年4月	線形代数Ⅰ 線形代数Ⅱ 微分積分Ⅰ 微分積分Ⅱ 線形代数講究 卒業研究						
専任	教授	吉田 拓生	平成29年4月	放射線安全工学 物理学D(熱・波・光) 応用電磁気学 応用物理学実験Ⅲ 電気電子回路 卒業研究						
専任	准教授	熊倉 光孝	平成28年4月	基礎物理学実験 基礎物理実験 物理学A(力学) 応用数学C(ベクトル解析) 応用物理学実験Ⅱ 卒業研究						
専任	准教授	古石 貴裕	平成29年4月	コンピュータ演習 応用物理学実験Ⅱ 物理化学Ⅰ 物理化学Ⅱ 卒業研究						
専任	准教授	古閑 義之	平成28年4月	微分積分Ⅰ 微分積分Ⅱ 線形代数Ⅱ 応用数学E(確率・統計) 卒業研究						
専任	准教授	芹生 正史	平成28年4月	宇宙の成り立ち 線形代数Ⅰ 応用数学E(確率・統計) 線形代数Ⅱ 線形代数演習 卒業研究						
専任	准教授	田嶋 直樹	平成29年4月	応用数学C(ベクトル解析) 微分積分Ⅰ 微分積分Ⅱ 微分積分演習 応用力学 卒業研究						
専任	准教授	玉井 良則	平成28年4月	情報処理基礎 コンピュータ入門 化学基礎 応用物理学実験Ⅲ 統計力学講究 卒業研究						
専任	准教授	西海 豊彦	平成28年4月	物理学B(電磁気学) 基礎物理学実験 応用物理学実験Ⅱ 卒業研究						
専任	講師	浅野 貴行	平成28年4月	工業概論 基礎物理学実験 力学演習 応用物理学実験Ⅰ 量子力学Ⅱ 卒業研究						
専任	助教	守安 毅	平成28年4月	工業概論 応用力学講究 応用物理学実験Ⅱ 卒業研究						

専任	准教授	Escano Mary Clare Sison	平成29年4月	学際実験・実習Ⅰ 学際実験・実習Ⅱ 応用数学A(微分方程式) 応用物理学実験Ⅲ 卒業研究					
専任	准教授	小川 泉	平成29年4月	物理学D(熱・波・光) 放射線安全工学 工業概論 量子力学Ⅰ 熱力学 応用物理学実験Ⅲ 物理学C(波・光) 卒業研究					
兼任	教授	有田 裕二	平成28年4月	機械・システム工学科概論Ⅰ 物理化学 エネルギー環境概論 機械・システム工学科概論Ⅱ 核燃料サイクル工学入門 原子力安全工学実験Ⅱ 原子力エネルギー・放射線工学 卒業研究					
兼任	教授	泉 佳伸	平成28年4月	放射線利用-医学と産業- ※ 放射化学 放射線化学・生物学 原子力安全工学実験Ⅰ 放射線防護工学 原子力エネルギー・放射線工学 卒業研究					
兼任	教授	宇笠 正美	平成28年4月	東日本大震災をどう受け止めるか ※ 核燃料サイクル工学入門 原子力安全工学実験Ⅰ 核燃料工学 卒業研究 化学基礎					
兼任	教授	福元 謙一	平成28年4月	機械・システム材料基礎 核燃料サイクル工学入門 原子力安全工学実験Ⅰ 原子力材料学 原子力安全工学実験Ⅱ 卒業研究					
兼任	教授	安田 仲宏	平成28年4月	東日本大震災をどう受け止めるか ※ 放射線利用-医学と産業- ※ 地域の防災・危機管理 ※ 原子力安全工学実験Ⅰ 原子力安全工学実験Ⅱ 放射線防護工学 原子力防災論 卒業研究					
兼任	教授	渡辺 正	平成29年4月	原子力プラント工学 原子炉工学 原子力安全工学実験Ⅱ 原子炉制御工学 工業概論 卒業研究					
兼任	准教授	大堀 道広	平成28年4月	地域の防災・危機管理 ※ 原子力安全工学実験Ⅱ 原子力・耐震耐津波工学 原子力防災論 卒業研究					
兼任	准教授	Van Rooijen Willem Frederik Geert	平成29年4月	原子炉物理学序論 原子力安全工学実験Ⅱ 原子炉制御工学 原子力エネルギー・放射線工学 卒業研究					
兼任	教授	斎藤 輝雄	平成28年4月	電磁波と物質 ※ 応用物理学実験Ⅲ 流体力学 卒業研究					
兼任	教授	小川 勇	平成28年4月	電磁波と物質 ※ 物理学A(力学) ※ 応用物理学実験Ⅱ 卒業研究					
兼任	教授	谷 正彦	平成29年4月	応用物理学実験Ⅰ 物理学C(波・光) 量子力学講義 卒業研究					
兼任	教授	光藤 誠太郎	平成28年4月	電磁波と物質 ※ 物理学A(力学) ※ 応用力学講義 量子力学演習 応用物理学実験Ⅰ 卒業研究					

兼担	准教授	立松 芳典	平成28年4月	物理学A (力学) 物理学B (電磁気学) 応用物理学実験 I 卒業研究						
兼担	准教授	藤井 裕	平成28年4月	基礎物理学実験 基礎物理学実験 応用電磁気学講究 応用物理学実験 II 卒業研究						
兼担	准教授	山本 晃司	平成28年4月	電磁波と物質 ※ 電気電子情報工学概論 ベクトル解析 論理回路 電気電子情報工学実験 I 電気電子情報工学実験 II 電気電子情報工学実験 III 卒業研究						
兼担	助教	古屋 岳	平成29年4月	物理学B (電磁気学) 応用物理学実験 I 卒業研究						
兼担	助教	山口 裕資	平成31年4月	卒業研究						
兼担	教授	米沢 晋	平成28年4月	物質・生命化学概論 無機化学 I 技術英語演習 無機化学 II 物質生命化学実験 II 物質生命化学実験 III 物質生命化学実験 IV 無機材料化学 卒業研究						
兼担	教授	虎尾 憲史	平成28年4月	工業日本語 I 工業日本語 II 工業日本語 III 工業日本語 IV						
兼担	講師	坂元 博昭	平成28年4月	基礎化学実験 技術英語演習 物質生命化学実験 I 繊維科学概論 物質生命化学実験 III 物質生命化学実験 IV 卒業研究						
兼担	講師	鈴木 悠	平成28年4月	進化する繊維の技術 ※ 基礎化学実験 技術英語演習 物質生命化学実験 I 物質生命化学実験 II 繊維科学概論 物質生命化学実験 III 物質生命化学実験 IV 卒業研究						
兼担	教授	松木 健一	平成29年4月	成長・発達と学習の過程 学校教育相談 II (進路指導を含む) 教育実習 (事前事後指導を含む)						
兼担	教授	柳澤 昌一	平成29年4月	アクティブ・ラーニングと生涯学習 ※ 教育の組織・制度・経営の基礎 教職実践演習 (中・高)						
兼担	准教授	岸野 麻衣	平成30年4月	学校教育相談 I (生徒指導を含む) 学校教育相談 II (進路指導を含む) 教育実習 (事前事後指導を含む)						
兼担	准教授	木村 優	平成28年4月	教職の意義 I (公教育と教職の意義) 教職の意義 II (学びの専門職としての教師) 教職実践演習 (中・高)						
兼担	准教授	笹原 未来	平成28年4月	人間の科学特別演習 C (障害児) 成長・発達と学習の過程 学校教育相談 I (生徒指導を含む) 教育実習 (事前事後指導を含む)						
兼担	講師	隼瀬 悠里	平成28年4月	教職の意義 I (公教育と教職の意義) 教職の意義 II (学びの専門職としての教師) 教職実践演習 (中・高)						
兼担	教授	浅原 雅浩	平成28年4月	地域科学コミュニケーション 教職実践演習 (中・高)						
兼担	教授	塚本 充	平成29年4月	コンピュータと情報処理 教職実践演習 (中・高)						

兼任	准教授	小林 和雄	平成28年4月	科学的な見方・考え方 理科教育法Ⅲ						
兼任	准教授	山田 吉英	平成28年4月	科学的な見方・考え方 理科教育法Ⅲ						
兼任	特命教授	柳原 敏	平成30年4月	リスク評価概論 廃止措置工学						
兼任	特命助教	浅井 華子	平成30年4月	技術英語演習 物質生命化学実験Ⅲ 卒業研究						
兼任	特命准教授	石垣 将宏	平成29年4月	原子カプラント工学						
兼任	講師	小倉 久和	平成28年4月	応用数学B(フーリエ解析) 線形代数Ⅰ 線形代数Ⅱ						
兼任	講師	長水 壽寛	平成29年4月	応用数学D(複素関数論)						
兼任	講師	西川 嗣雄	平成29年4月	放射線安全工学						
兼任	講師	高島 敏郎	平成30年4月	知的財産権の基礎知識						
兼任	講師	高原 裕一	平成31年4月	ベンチャービジネス概論						
兼任	講師	松山 敏郎	平成31年4月	職業指導						
兼任	講師	諏訪 いずみ	平成28年4月	情報処理演習						
兼任	講師	林 明久	平成28年4月	微分積分Ⅱ 応用数学A(微分方程式)						
兼任	講師	長谷川 武光	平成28年4月	数学演習						
兼任	講師	菅野 雅代	平成30年4月	技術英語						
兼任	講師	野尻 誠	平成31年4月	電波・電気通信法規						
兼任	講師	増田 和宏	平成31年4月	電波・電気通信法規						
兼任	講師	松澤 一砂	平成31年4月	電波・電気通信法規						
兼任	講師	堀 正彦	平成31年4月	電気法規及び施設管理						
兼任	講師	三上 俊介	平成28年4月	微分積分Ⅰ 微分積分Ⅱ 線形代数Ⅰ						
兼任	講師	近藤 基和	平成28年4月	確率・統計						
兼任	講師	山本 博章	平成28年4月	測量学第一及び実習						
兼任	講師	山田 健太郎	平成28年4月	設計演習基礎第一 建築設計演習第一						
兼任	講師	高嶋 猛	平成29年4月	建築史 建築設計演習第一 建築設計演習第二 建築設計演習第三						
兼任	講師	山中 邦一	平成30年4月	建築法規						
兼任	講師	兼八 和幸	平成29年4月	建築施工						
兼任	講師	出田 吏市	平成29年4月	都市設計演習第一						
兼任	講師	小林 泰三	平成30年4月	地盤工学第二						
兼任	講師	井上 克己	平成28年4月	微分積分Ⅰ 微分積分Ⅱ						
兼任	講師	梅木 富士夫	平成30年4月	応用数学C(ベクトル解析)						
兼任	講師	James Wesley Gray	平成30年4月	技術英語コミュニケーション						
兼任	講師	松原 富夫	平成30年4月	テキスタイルサイエンス						

兼任	講師	坪川 武弘	平成28年4月	線形代数 I						
兼任	講師	鈴木 敏男	平成29年4月	応用数学 A (微分方程式)						
兼任	講師	青木 幸一	平成29年4月	電磁気学演習 科学技術英語						

- (注) ・ 申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・ 年齢は、「**設置時の計画**」には当該学部等の就任時における満年齢を、「**変更状況**」には平成29年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
11 名	6 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十条別表第一により算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数 (工学部機械・システム工学科)

設置時の計画					現在 (報告書提出時) の状況					現在 (報告書提出時) の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)
10	16	6	5	37						10	16	6	5	37
(14)	(16)	(5)	(3)	(38)	15	16	8	2	41	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。

・ 「現在 (報告書提出時) の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数 (実人数) を記入してください。

・ 「現在 (報告書提出時) の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、

[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: Δ1)

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢 (歳)	報告書提出時 (上記 (A)) の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時 (上記 (B)) の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	0 名	0 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢 (特例等による定年年齢ではありません) 、

および、平成29年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。

・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由 該当無し

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
合計 (A)				後任補充状況の集計 (B)		
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
合計 (C)				後任補充状況の集計 (D)		
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)

- (注) ・ 一度就任した後に、辞任した全ての専任教員の辞任の理由を具体的に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

上記(3)－① ・ (3)－② の合計

合計(A) + (C)		後任補充状況の集計(B) + (D)		
辞任等した教員数	担当科目数の合計(a) + (b) + (c)	①の合計数(a)	②の合計数(b)	③の合計数(c)

(注) ・ 就任辞退(未就任)及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」 該当無し

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等 該当無し

区 分	留 意 事 項 等		履 行 状 況	未履行事項について の実施計画

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 同一設置者が設置する既設学部等に付された意見は、当該大学から提出される全ての報告書に記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<工学部 機械・システム工学科>

(1) 設置計画変更事項等 該当無し

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
 ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

【全学】福井大学高等教育推進センター FD・教育企画部門会議

【工学部】福井大学工学部及び大学院工学研究科FD委員会

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

【全学】福井大学高等教育推進センター FD・教育企画部門会議

平成28年度3回開催 委員構成：各学部委員、事務職員を含め9名

【工学部】福井大学工学部及び大学院工学研究科FD委員会

平成28年度2回開催

委員構成：工学研究科長が指名した教員及び学研究科博士前期課程各専攻より選出された委員 計10名

c 委員会の審議事項等

●福井大学高等教育推進センターFD・教育企画部門会議

- 1) カリキュラムの調査・分析・検討,
- 2) 授業尾内容・方法の改善及び教材開発,
- 3) GP等の教育プロジェクト
- 4) e-learning・ICT利用教育及び双方向遠隔授業,
- 5) 教育に係る地域連携及び国際連携
- 6) 教育に係る評価及び教育評価法の開発,
- 7) その他センターが必要と認めた事項

●福井大学工学部及び大学院工学研究科FD委員会

- 1) FDの企画及び実施に関すること,
- 2) アクティブ・ラーニングに関すること,
- 3) その他FDに関すること

② 実施状況

a 実施内容

●福井大学高等教育推進センターFD・教育企画部門会議

- ・福井大学FD・SDシンポジウムの開催（平成29年3月29日）
- ・全学FD・SDシンポジウム終了後に講師及び各教員との意見交換会

●福井大学工学部及び大学院工学研究科FD委員会

- ・アクティブ・ラーニング通信（教員のALに関する取り組みを紹介するメルマガ。H28年度は18回発行）

・FDランチタイムしゃべり場（教員間の意見交換会。H28年度は5回開催）

b 実施方法

●福井大学高等教育推進センターFD・教育企画部門会議

福井大学FD・SDシンポジウムは、学外から講師を招聘し、主にアクティブ・ラーニングについてのシンポジウムを開催した。開催日時については、事前に教授会等で周知を行い、当日はTV会議システムを利用し、可能な限り多くの教員が参加できるようにした。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

・福井大学FD・SDシンポジウム（平成29年3月29日） 参加人数：80名

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

・実施結果を踏まえて、平成29年度以降の授業改善等に役立てていく。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・授業改善のためのアンケート（前期及び後期に実施）
- ・カリキュラム評価アンケート（後期期間中に実施。H28年度は1-2月に実施）

b 教員や学生への公開状況、方法等

・授業改善のためのアンケート（前後期を通して任意の科目で実施。教員や施設管理者等に新たな取組みの紹介や施設等に対する改善検討を求め、学生に対応状況をフィードバックしている）

・カリキュラム評価アンケート（集計結果を各学科にフィードバックするとともにWeb掲載により全教職員・学生に公開。）

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（3）自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

平成28年度に改組し順調に進んでいる。引き続き、設置の趣旨・目的に沿って教育・研究活動を計画通り実施していきたい。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・平成34年3月 公表予定

b 公表方法

・自己点検・評価報告書を作成し、大学ホームページ上に公開予定

③ 認証評価を受ける計画

・平成33年度に評価機関の評価を受けるべく、学内で検討中

（注）・設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)

b 公表時期 (未公表の場合は予定時期) (29年 7月 1日)